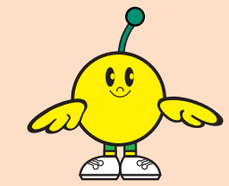
県議会ふくしま

9月定例会（9／15～10／5）の概要

第107号



［企画・編集］
福島県議会
広報委員会

議員定数条例改正案を可決 議員定数は57へ

令和8年度補正予算案176億5,700万円も可決

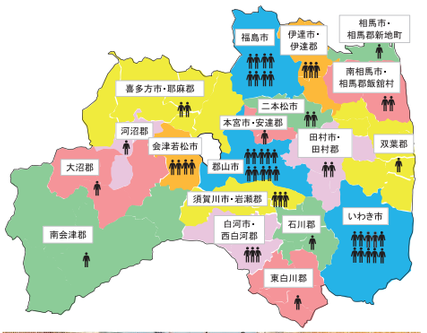
10月5日の本会議では、議員総定数を1人減の57人とし、双葉郡選挙区（定数2）を1人減の1人とする議員定数条例の改正案を可決した。来年秋に執行される予定の県議会議員一般選挙から適用される。

9月定例会では、教育環境の充実や地域産業の戦略的発展に向けた取組、県民の安全・安心な暮らしを守る取組など、総額176億5,700万円が計上された一般会計補正予算案を可決した。

そのほか、知事提出議案18件、議員提出議案6件、合わせて25件の議案を可決した。

議員定数条例改正の内容

総定数　57人（1人減）
双葉郡選挙区　1人（1人減）




採決の様子

補正予算の主な内容

1　県立高等学校等における教育環境の充実
　72億9,769万円
2　地域産業の戦略的発展に向けた基金積立
　70億6,533万円
3　県民の安全・安心な暮らしを守る取組
　3億1,546万円

可決した国への意見書は、県議会ホームページをご覧ください

県議会の動き

議長・副議長と高校生との懇談会を開催

会期外の8月7日、議長・副議長と県内高校生との懇談会を開催した。参加した10人の高校2年生は、議会の概要や選挙制度について説明を受けた後、議場や委員会室などを見学し、地方議会への理解を深めた。懇談会では、議会の取組や議員活動について活発な質疑応答が行われた。


懇談会の様子

総括審査会を開催

10月2日、総括審査会を開催した。各会派から8名の議員が、各施策について執行部の取組を質した。

総括審査会の詳細はこちら


復興祈念公園で説明を受ける委員

特別委員会が県内調査を実施

会期外の7月28日から30日にかけて、復興・創生推進対策、県民の安全・安心対策、人口減少・地域活力創造対策の3特別委員会が県内調査を実施した。各委員会は所管事項に関連する機関等を視察した。

復興・創生推進対策特別委員会は、福島県復興祈念公園にて風化防止の取組について調査した。


議員勉強会の様子

議員勉強会を開催

9月17日、原子力損害賠償・廃炉等支援機構の更田豊志（ふけた　とよし）廃炉総括監による勉強会を開催し、福島第一原発の廃炉の取組の進捗状況等について、見識を深めた。

定例会での主な質問

代表質問　9月17日

自由民主党　佐々木　彰　議員



県政運営について

質問　県政150周年の節目である本年は、知事選と県議補選が執行予定であり、県民に今後の本県の針路を示す重要な年である。知事は、59市町村をくまなく歩き県民の声に真摯に向き合い、現場主義を徹底してきた。どんな困難にも自ら先頭に立ち、課題解決に挑戦し続ける姿は、県民を勇気づけ、その力強いリーダーシップで複合災害からの復興を着実に前進させてきた。

次期知事選への出馬表明を受け、3期目の成果を土台に、復興・創生を更に前へ進めることを期待する。

そこで知事は3期目の取組を踏まえ、今後どのように県政運営を行っていく考えか尋ねる。

答弁　3期目の負託を受け4年、避難地域では中核的病院整備への着手や特定帰還居住区域制度の創設など、復興は新たなステージへ進んでいる。また、防災基本条例を制定し、自助・共助・公助が連携した取組の強化を図るなど、安全・安心な県づくりに注力してきた。急激な人口減少には、「感動！ふくしま」プロジェクトの展開や「ふくしま共創チーム」に多くの若者や企業等の参画を得て、オール福島で取組を進めている。

一方、廃炉や除去土壌の処分など復興は長く厳しい闘いが続き、人口減少問題も危機的な状況の中、県政150周年を迎え、私は「継往開来」「現場主義」「進取果敢」を基本姿勢とし、先人たちの誇りと不屈の精神を胸に、県民の皆さんの思いを全身で受け止めながら、挑戦者の情熱と気概を持って、常に先頭に立ち全力で県政運営を行っていく覚悟である。

その他の主な質問
- 災害に強い県づくり
- クビアカツヤカミキリの果樹被害対策

代表質問　9月18日

県民連合　亀岡　義尚　議員



中小企業者・小規模事業者への支援

質問　人口減少と少子高齢化が進展する中、中小企業者・小規模事業者の後継者不足は深刻さを増し、休廃業を余儀なくされるケースが増加している。特に、地域密着型の小規模事業者は、後継者確保が困難なだけでなく、日々の業務に追われ事業承継の準備に時間を割けないことや、承継に伴う資金確保の難しさなど、様々な問題を抱えている。

地域の商店や雇用の喪失を防ぎ、事業者が培った技術を承継するためにも、相談対応から後継者候補とのマッチング、財務支援に至るまで、関係機関の連携による支援が不可欠である。

そこで県は、小規模事業者の事業承継支援にどのように取り組んでいくのか尋ねる。

答弁　小規模事業者の事業承継については、地域の生活や雇用を支える事業者の存続に向け、関係機関が一体となって支援していくことが重要であることから、これまで、事業承継の取組に対する補助や資金繰り支援等を行ってきたところである。

今後は、商工団体等の支援機関を対象とした研修に、新たに市町村職員も加え、身近な相談窓口の拡充を図るとともに、専門的な支援を行う事業承継・引継ぎ支援センターの取組について、関係機関を通じ、経営者への周知活動を強化するなど、事業者の実情に寄り添いながら、円滑な事業承継の支援に取り組んでまいる。

その他の主な質問
- ネクストハイスクール構想について
- 高齢者の移動手段の確保

一般質問・主な質問事項

9月25日

自由民主党　山口　信雄　議員
1　県産ワインのブランド力向上
2　緊急銃猟について
3　公立小中学校体育館へのエアコン設置

県民連合　山田　真太郎　議員
1　持続可能な地域づくり
2　市町村におけるAIの活用
3　自転車通行空間の整備

自由民主党　石井　信夫　議員
1　戦略的な県産米の販売
2　中小企業の新製品開発への支援
3　メガソーラー開発について

県民連合　荒　秀一　議員
1　サーキュラーエコノミーポートについて
2　医療機関に対する支援
3　テクノアカデミー浜について

日本維新・無所属の会　水野　さちこ　議員
1　ネクストハイスクール構想について
2　しんきゅう師を活用した健康増進及び介護予防
3　只見線の利活用促進

9月28日

自由民主党　誉田　憲孝　議員
1　医師確保対策について
2　防災局等の県内誘致
3　自転車交通反則通告制度導入後の取組

県民連合　猪俣　明伸　議員
1　中小企業へのカスタマーハラスメント対策支援
2　最低賃金引き上げに伴う中小企業の賃上げ支援
3　輸出用等の非主食用米の生産振興

自由民主党　佐藤　郁雄　議員
1　「こどもまんなか社会」の実現
2　会津地方の救急医療体制の強化
3　医療的ケア児の家族への支援

県民連合　橋本　徹　議員
1　双葉地域への企業誘致等による産業集積
2　双葉地域の中核的病院の看護師確保
3　警察職員の効率的な運用

公明党　今井　久敏　議員
1　母子専用避難所の普及拡大
2　特定都市河川に指定した逢瀬川流域の水害対策
3　女性活躍社会の実現

〈広　告〉
ふくしま150th

◆令和8年12月定例会
12月8日(火)開会予定

◆詳しい情報は
福島県議会　検索